



石井かすみ県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

北千葉道路市川—船橋小室間

手続きの迅速化を

石井一美県議は12月定例県議会で一般質問を行い、ふるさと鎌ヶ谷市の都市基盤整備を中心
に県執行部の考えを聞きました。同市の基幹道
路として完成が待たれる北千葉道路市川―船橋
小室間について、石井県議は都市計画と環境ア

セメントの手續きをスピードアップできないかと質問、渋滞が頻発する県道船橋我孫子線初富交差点の改良についても工事の早期着手を要望しました。石井県議の質問と県当局の答弁を特集します。



12月定例県議会で一般質問を行う石井一美県議

12月定例県議会一般質問

石井議員 北千葉道路の市川から船橋小室の区間については、現在、事業化に向けて千葉県において都市計画と環境アセスメントの手續きを進めており、これまで環境アセスメントの「方法書」の縦覧や住民説明会を行うなど、着実に手續きが進められているとかがあって

一歩一歩進んでいることは評価するが、前回の第7回の北千葉道路連絡調整会議が開催されたのは平成29年6月のことで、1年以上も

経過しているのは、やはり遅いと言わざるを得ない。もっと頻繁に会議を行い、関係機関で協議を重ね、事業化に向けた都市計画と環境アセスメントの手続きを早く進めていただきたいと思う。

そこだろうか。だが、北千葉道路について、手続きを二層スピードアップして事業化を早めることはできないのか。

都市整備局長 北千葉道
路については、本年1月より
都市計画と環境アセスメン
トに着手し、「都市計画の構

想段階評価書」及び「環境影響評価配慮書」の手続きを開始しました。

現在、環境影響評価の実施項目等を示した「方法書」の手続きを行っており、来年1月から「準備書」の作成に向けた調査に着手できる見込みとなっています。

今後は、第8回北千葉道路連絡調整会議で合意した道路構造などの計画の考え

方を基に、国や沿線市との調整を図りながら計画の概略をまとめ、公聴会を実施するなどして「都市計画の

船橋我孫子線初富交差点
右折レーン設置へ
測量、設計に着手

石井議員 県道船橋我孫子線初富交差点改良の検討状況はどうか。

県土整備部長 県道船橋
我孫子線は、船橋市と我孫
子市を結ぶ主要な幹線道路
ですが、初富交差点は、南北
方向からの右折が出来ない

ため、朝夕を中心に渋滞が発生しており、この緩和に向けた、交差点改良が必要であると認識しています。

このため、現在は、右折レーンの設置に向けて、地形測量と予備設計を実施しているところです。

引き続き、早期に交差点改良に着手できるように検討を進めてまいります。

速やかな完工を

千葉鎌ヶ谷松戸線
鎌ヶ谷大仙交差点

石井議員 県道千葉鎌ヶ谷松戸線鎌ヶ谷大仏交差点改良の進捗状況はどうか。

案」を作成してまいります。

県といったしましては、都市計画と環境アセスメントの手続きを併行して行うことで期間を短縮し、国や沿線市と連携し、早期に事業化が図られるよう全力で取り組んでまいります。

要望
石井議員 11月
23日に国土交通大
臣が北千葉道路の予定地を

視察に訪れたことが新聞に載っていた。その際、地元から事業の早期着工に向けた要望に対して、大臣に手続きを着実に進めることを強調したと書いてあった。

ぜひとも一日でも早い着工年度を示していただきたい。地元がこの事業に対する気運が一層高まることを期待している。

県土整備部長 これまでに、県道千葉鎌ヶ谷松戸線の松戸市側と市川印西線の市川市側に右折レーンを設置し、全体で約750メートルの歩道拡幅が完成したところです。

現在は、残る右折レーンの設置に向けて、交差点付近の用地取得を優先的に進めており、今年度は、鎌ヶ谷大仏側の隅切り部の用地を取得したところです。

要望 石井議員 初富交
差点の早期事業化、
鎌ヶ谷大仏交差点の整備
は、ぜひとも今まで以上に
スピードアップして、完了
年度を定めて進めていただ
きたい。

石井かずみ・PROFILE

略 歷

- 昭和19年 鎌ケ谷市に生まれる
- 昭和38年 千葉工商高校卒
- 同年 有限会社石井商店勤務
- 昭和62年 鎌ケ谷市議会議員当選
(7期)
- 平成 9 年 鎌ケ谷市議会議長
- 平成27年 千葉県議会議員当選

■ 現 職 ■

- 千葉県議会 総合企画水道常任委員
会副委員長
- 鎌ヶ谷市野球協会会長
- 社会福祉法人理事

●県政や鎌ヶ谷市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

石井かずみ

議 事 所

〒273-0132 鎌ヶ谷市栗野153
TEL 047-443-4731
FAX

子ども医療費助成制度

対象拡大で負担大きく

県は市町村に財政支援を



県執行部の答弁に対して再質問する石井県議

石井かずみ県議会レポート

石井議員 千葉県では保健対策の充実及び保護者の経済的負担軽減のため、子どもの保険診療に係る医療費を助成する公費負担制度として「子ども医療費助成制度」を実施している。千葉県は、助成の対象を中学3年生までの入院と小学3年生までの通院としており、子どもにかかる医療費について、実施主体の市町村に事業費の2分の1を補助しているところだが、平成30年10月1日現在の状況で県内37市町が通院の助成を中学3年生まで引き上げ、また、17市町村で助成の対象を高校3年生まで引き上げていることから、拡大大部分の市町村の財政負担が大きい。そこでまずうかがうが、本来の子ども医療費助成事業の必要性をどのように考え、その目的とするところはどのようなところにあるのか。

健康福祉部長 子ども医療費助成制度は、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を目的としており、疾患にかかりやすい年齢の子どもが医療機関を受診する場合に、保護者に安心していただくための事業です。

県では、これらの目的の実現を図るために、本事業を市町村との協調により実施しているところであり、本事業は、本県の子どもへの保健対策上重要な役割を担っていると考えております。

再質問 石井議員 通院について、市町村が中学3年生または高校3年生までを助成対象として

している状況について県としての今後の支援をどのように考えているのか。

健康福祉部長 本制度に

石井議員 地方創生についてうかがう。「千葉県地方創生総合戦略」のこれまでの進捗状況を踏まえ、今後どのように進めて行くのか。

知事 県では、千葉県地方創生総合戦略に基づき、人口減少の中においても、県民が満足して暮らせる持続可能な地域社会の実現を目指し、産業振興等による魅力ある雇用の場の創出や、移住・定住の促進と交流人口の増加、子育て環境の整備などに取り組んでいるところでは、

平成29年度までの3年間において、14の数値目標のうち、「県内年間商品販売額」や「子どもを生み育てやすいと感じる家庭の割合」など、13の目標で策定時より「進展」しているものの、平成31年度の目標値に対する進捗率が想定を下回るものもあり、課題が残されているところでは、

このため、今後とも、社会状況の変化や地域の実情を踏まえながら、課題の分析を行うとともに、施策の改善や見直しに努め、戦略の着実な実現を図ってまいりたい。

市町村の取り組みを後押しする制度を

石井議員 市町村が進める地方創生を、県はどのように支援しているのか。

知事 本県の地方創生を確実に実現するには、市町村の果たす役割が重要と考えています。

そのため、県では、市町村の取り組みがより円滑に進むよう、情報提供や助言を行うとともに、地域で共通する取り組みについては、

国に制度創設を委ねるのではなく、まず、財政の支援を求めることが第一ではないか。

ぜひと、千葉県の強みとなる市町村を、県として主体的に支援の拡大に取り組まれることを強く要望する。

現在、市町村はそれぞれが策定した戦略に基づき、創意工夫しながら、地域の特性を生かした地方創生に取り組んでいます。県としては、今後とも広域的な立場から、市町村の意欲的な取り組みを支援していきます。

大津川 河川整備残り1ヶ

石井議員 大津川の河川整備だが、今後いかにスピードアップして整備を進めていくのか。

大柏川第二調節池

用地確保区域に

暫定整備を予定

石井議員 大柏川第二調節池の進捗状況はどうか。

また調節池の整備をどのように進めていくのか。

県土整備部長 大柏川第二調節池は、調節池下流の

浸水被害の軽減を図るため整備するもので、これまでの用地取得状況は、約89パーセントとなっています。

県では、鎌ヶ谷市が改修を進めている二和川からの洪水流入に対応するため、調節池上流側のまとまった用地が確保できた区域において、掘削や築堤を先行的に行って、貯留機能を確保することとしています。

今年度は、掘削に伴う地

下水低下対策や築堤実施に向けた設計を行っています。

今後に残る用地取得を進めるとともに、鎌ヶ谷市の河川改修事業と整合を図り、早期に治水効果を発揮できるよう努めてまいります。

要望 石井議員 大柏川第二調節池の暫定整備は、是非とも今まで以上にスピードアップして、目標年度を定めて進めていただきたい。

大津川は、架け替えが必要な橋梁が多く、河川整備に長期間を要しておりますが、引き続き、地域の皆様のご協力をいただきながら、整備の一層の推進に取り組んでまいります。